

GreenThumb

花や緑にときがあり、
人にも時がある……

CONTENTS

あしたのまち・くらしづくり活動賞
『企業の地域社会貢献活動部門』
内閣総理大臣賞受賞 ……2

自然とふれあう楽しさや喜び
心と心が響きあうしあわせ
もっともっとたくさんの人たちに伝えよう
美しく、あたたかに広げていこう……

グリーンサム倶楽部への応援メッセージ

- 野呂田兼雄 ■野地秩嘉……………4
- 小玉敏央 ■関口久美子……………7
- 木村昭二 ■平野秀典……………8
- 丸の内くるみ ■佐々木吉和……………9

グリーンサム倶楽部の顔 ……10
～みんなよろこんでいます～

TOPICS

遊び心育てよう、楽しもう、創ろう、元気な
グリーンサムガーデン! ……12

2007年3月
春号
Vol.9

一緒に育てよう、楽しもう！

自然とふれあう楽しさや喜びを
もつとつとたくさんの人たちに伝えたい
美しく、あたたかに広げていきたい



あしたのまち・くらしづくり活動賞

『企業の地域社会貢献活動部門』 内閣総理大臣賞受賞

財団法人あしたの日本を創る協会、NHK、読売新聞社東京本社 等が主催し、内閣府、
経済産業省、全国知事会、全国市町村、全国商工会連合会等が後援する「創立50周年記念平成18年度
あしたのまち・くらしづくり全国フォーラム」において、むつみ造園土木(株)が
「企業の地域社会貢献部門」で内閣総理大臣賞を受賞しました。

企業の地域社会貢献部門は、地域社会において、企業や企業連合体が、本来の活動とは別に、
地域社会に貢献する活動で大きな成果をあげたと認められた企業に授与されます。

むつみ造園土木(株)がこれまで行ってきた、海岸線の清掃活動や沿岸緑化計画を展開している
「フィロスあきた」や、花と緑を愛する人たちが自由に参加できるネットワーク

「秋田グリーンサム倶楽部」(会員数1200名)の活動等が高く評価されての受賞となりました。

※内閣官房長官賞はトヨタ自動車(株)、振興奨励賞はソニーエナジー・デバイス(株)、(株)西友等でした。



平成18年12月4日、センチュリーハイアット東京にて「創立50周年記念平成18年度
あしたのまち・くらしづくり全国フォーラム」
記念式典が開催され、むつみ造園土木(株)
・秋田グリーンサム倶楽部を代表して佐々木
吉和と三浦顯児が表彰式に出席しました。





■自然再生プロジェクト

平成14年から、環境に敏感な「ホタル」が自然に生息できることが、自然再生の第一歩だというヒートアップの考え方のもと、ホタルの産卵・ふ化・飼育・幼虫の放流活動を行っています。井川町に住む子どもたちと井川に放流したり、井川町ホタル保存会や内陸縦貫鉄道の皆さんに飼育技術指導をしています。



■フィロスあきた

秋田火力発電所から八郎湖河口までの約15kmの海岸林。以前はゴミの不法投棄が目立ち、当社の発案で平成7年から「フィロスあきた」として清掃活動を行っています。平成10年からは東北電力と秋田県立大学の皆さんが参加、平成14年からは秋田県が主導的役割を担っています。

もっとたくさんの人たちに伝えよう 美しく、あたたかに広げていこう

内閣総理大臣賞を
受賞することができました。

「創立50周年記念平成18年度あしたのまち・くらしづくり全国フォーラム」において、むつみ造園土木(株)・秋田グリーンサム倶楽部が「企業の地域社会貢献部門」でグランプリである総理大臣賞を受賞しました。

夕日の松原の清掃活動を行っている「フィロスあきた」や花と緑を愛する人たちのネットワーク「秋田グリーンサム倶楽部」の活動、園児や児童が古代米づくりを体験する「グリーンマネジメント」、ホタルの飼育と放流に取り組む「自然再生プロジェクト」など、花と緑を愛好する人々と地域住民の皆様とともに今まで行ってきた小さな積み重ねが評価され、大きな賞をいただくことができました。伊藤審査委員会座長からは、従業員が約80名の企業規模にも関わらず、活動の質の高さと多彩さが抜群の高い評価を得たものだと言評をいただきました。

「むつみ」という名に込めた
創業の精神とは

創業者の佐々木吉之助は、私欲なく、ひたすら地域を愛し、地域発展に尽力した人でした。
創業のきっかけは、出戸小学校の児



■創業者：佐々木吉之助と妻・カチ【自宅前にて】
創業者である、故・佐々木吉之助と働く周りの人々をやさしくささえて生きたカチ婦人。むつみの今日の原点はこの二人から生まれ育った。

童数が年々減少し、小学校がなくなってしまうかもしれないという事に心を痛め、この地域を活性化させようと不動産業に取り組み始めました。宅地開発には家づくりと庭づくり、そして住み良い地域づくりを統合的に指揮する必要があるとしました。昭和55年には私財を投じて地域のよりどころ、社業の安全を祈念して「宝蔵神社」を建立しました。

むつみ造園土木(株)の社章は、天・地・人の3つの輪が組み合わせられ、それにより7つの輪ができます。外輪の6つの輪はそれぞれ知恵・愛・生命・供給・喜び・調和の徳が授けられており、内輪は実相です。「内」と「外」に仲睦まじくという意味で「むつみ」という社名が定められました。



■社章



■グリーンマネージメント 【古代米づくり体験学習】

平成17年から子どもたちを対象に古代米づくりのプログラムをスタート。毎年、旭川幼稚園の園児とその保護者、出戸小学校の児童に参加していただいています。田植えから稲刈り、収穫したお米で昔ながらの杵と臼で餅つきをしてもらい、お米の大切さや自然の恵み、そしておいしさを体験してもらっています。

■グリーンサムロード

出戸浜駅からグリーンサムガーデンまでの道をグリーンサムロードと名付け、平成16年から地域の方々の協力のもと、季節の花が彩る道に整備しています。途中にある「さんぽ駅」は地域の方や子どもたちが気軽に利用しています。

自然とふれあう楽しさや喜び 心と心が響きあうしあわせ もっと

みんなで木を植えよう！
百年後に緑を残そう！

新潟県では22世紀の人々に緑の遺産を残す「緑の百年物語」という県民活動に取り組んでいます。1年間で人間が吐き出す二酸化炭素を吸収するには、樹齢30年の杉の木が16本必要になるという計算から、1人16本の木を植えようという計画です。具体的・数値的なプログラムはないけれど、百年かけて緑を育て、百年後の県民に緑を残そうという運動です。県民ひとりひとりの手で木を植え、育もうという取り組みは感慨深いものがあると思います。他県の取り組みでもあります。花と緑を愛する人々には、共通した想いがあるのだと感じました。

むつみグリーンサムガーデンは
ゆるやかな時間が流れる場所

むつみグリーンサムガーデンを訪れた人が口にする言葉。それは「なんかホッとする」「すてきな場所ね」など気持ちがいやすらぐという意味をなす言葉ばかり。秋田市内からは車で30分程度。車を走らせこの場所にとどり着くまでに、気持ちの中に『のどかさ』『なつかしさ』…そんな感情が湧き上がってくるという言葉です。

グリーンサムガーデンで
心と体の健康を

グリーンサムガーデンは田んぼや畑、果樹園などの自然に囲まれたオープンガーデンになっています。そして隣接したアトリエと展示室があります。建物と庭、inとoutが一体化したつくりのオープンガーデンが特徴で、手入れの行き届いた花や緑はいきいきと、そして訪れる方々の表情もそれ以上にいきいきと感じられます。イベントに参加したり、散策を楽しんだりしていると自然にリラックスできる場所。それは花と緑のパワーが心身のバランスをうまく保たせてくれる環境にあるからでしょう。

昨今では植物の自然治癒力によるスキンケアが提唱されているように、食事や運動とともに植物の力がリラクゼーションをもたらし、心と体の健康に良い働きがあると言われています。これまでの見た目の美しさだけにこだわった「庭」にはない、何かがここにはあります。まさに、これからの庭づくりには「心と体の健康」が大きなテーマとなっていくのかもしれない。

グリーンサムロードを
季節の花と緑でいっぱい

グリーンサムガーデンから出戸浜駅



■グリーンサムガーデン

秋田グリーンサム倶楽部のメンバーが中心となり、春から秋にかけて月1回「グリーンサムガーデン」を開催しています。ガーデニングスクールや押し花やポーセラーツ等の体験教室、季節の野菜や花の販売などを行っています。また、定期的にパン作りや料理教室、フラワーアレンジメント教室の実施や様々な展示会を行い、地域の皆様の交流の場所となっています。





まで続く道はグリーンサムロードという愛称をつけ、地域の皆様のご協力のもと、木や花や緑を植え続けていきます。自然のリラクゼーション効果、心身の健康への影響はもろろですが、良い環境づくりは良い街づくり、不動産を価値あるものにするにもつながっていきます。

心地よい緑の中に人々が集い、清潔感のある地域をつくり、小さな地方都市であっても都会の高級住宅地にも負けない「住」と「心」の環境を自ら創り出すことができます。まずは自分の家の前から、そして地域へと、グリーンサムの心があたたかに広がって欲しいと願っています。

このグリーンサムロードの途中には、木・石・竹などの自然素材を使用した「さんぽ駅」があります。ここでは地域の人たちが気軽におしゃべりしたり、子どもたちの遊び場として、またお買い物やの途中のひと休み、雨宿りなど、地域の皆様に様々に利用していただいております。

地球のことを考えて、地域で行動しよう！

グリーンベルト運動を創設し、環境分野で初めてノーベル平和賞を受賞した、ケニアの副環境相ワンガリ・マータイさんを「存じ」でしょうか。土地を緑の洋服に着替えさせるといふ意味

の「グリーンベルト」という、女性たちによる植林活動をしています。この30年間でケニア全土に3000万本の苗が植えられました。そして潤いある環境が整いはじめ、それは女性たちの自信につながり、男性も女性の力を認めるようになったそうです。

「Think Globally Act Locally」(地球のことを考えて、地域で行動しよう)。

金持ちや大統領でなくても、市民ひとりひとりが、より良い地球づくりに貢献できると、マータイさんは言います。将来のヴィジョンを持ち、それを実現できると信じて進めば、未来は変えられると訴えかけています。

秋田グリーンサム倶楽部の地域活動と地域社会

ワンガリ・マータイさんの世界的活動に比べれば、むつみ造園土木(株)・秋田グリーンサム倶楽部の活動はほんの小さなものかもしれません。しかし、地域に根ざし、多くの人々や他の組織と協同・連携し、環境を大切に、持続可能な美しい地域社会の創造を目指すという精神は大きく勝るものでもあります。

これからも未来に向けて、皆様と共に楽しくふれ合いながら、心身ともに健全な地域社会の発展に努めて参ります。

■感謝祭やクリスマスパーティーなど、多彩なイベントも開催
春と秋の感謝祭、年末にはクリスマスならぬ「クリスマス」パーティーを開催し、グリーンサム倶楽部のメンバーや地域の皆様との交流を図っています。「クリスマス」パーティーでは、グリーンサム倶楽部のメンバーによる「カリスマシユフ(主婦)」の自慢料理がテーブル狭しと並び、毎回大好評です。プロのヴァイオリニストやギタリストを招いての演奏会、作家を招いての講演会、さらに地域の方々による大正琴やマンドリンのコンサートなど多彩な内容で行っています。



■クリスマスの時期になると、グリーンサムガーデンやグリーンサムロードには華やかなイルミネーションが登場。トナカイやツリーがクリスマス気分を盛り上げます。

